

**平成26～28年度実施事業**

**男女共同参画実施計画事務事業評価表**

**名 寄 市**

男女共同参画実施計画事務事業評価の結果（実施年度：平成26年度～平成28年度）

区分	達成度 A	達成度 B	達成度 C	達成度 D	統合事業	計
評価対象実施事業数	131	27	1	0	24	183
	71.6%	14.8%	0.5%	0.0%	13.1%	100.0%
基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識の改革	43	9			5	57
基本目標Ⅱ 家庭・地域・職場における男女共同参画の促進	25	14			14	53
基本目標Ⅲ 健康づくりと福祉の充実	63	4	1		5	73
合計	131	27	1	0	24	183

●達成度

- A 達成した
- B おおむね達成した
- C 達成できなかった
- D 実施出来なかった

男女共同参画実施計画事務事業評価表（実施年度：平成26年度～平成28年度）

●達成度  
 A 達成した  
 B おおむね達成した  
 C 達成できなかった  
 D 実施出来なかった

●事業の方向  
 1:充実 5:縮小  
 2:現状維持 6:廃止・休止  
 3:内容見直し 7:完了  
 4:統廃合 8:その他

●評価  
 3点 順調に取り組まれている  
 2点 概ね取り組まれている  
 1点 より積極的な取組をおねがいする  
 0点 早期に取り組む必要がある

基本目標Ⅰ 男女共同参画社会の実現に向けた意識の改革

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)		最終評価(推進会議)		
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等
1 男女共同参画の実現に向けた意識づくり	①啓発活動の充実	1	1	広報なよろ・ホームページ・各種発行物等による啓発	広報なよろの発行・ホームページの公開	企画課	A	2	活動指標の目標値を達成している。 ・広報なよろ、ホームページで啓発している。	3	・引き続き周知を進めてほしい。 ・広報なよろの男女共同参画の欄は内容の充実を図ってほしい。 ・啓発している割にはまだ市民に普及していないように感じる ・啓発活動は十分だと感じる。人の目に触れていることがよい。好評価。 ・農業委員会、農業委員会だよりどちらも知らなかった。	A	2	1次評価のとおり
			2	農業委員会だよりの発行	農業委員会	A						2	26～28年農業委員会だよりで家族経営協定の締結促進についてPRしている。 1次評価のとおり	
		2	各イベントでの啓発	男女共同参画パネル展	企画課	A	2	活動指標の目標値を達成している。 ・男女共同参画週間にパネル展を開催している。	3	・啓発活動は十分だと感じる。人の目に触れていることがよい。好評価。 ・取り組まれているのは、職場からパネル展に参加している同僚がいるので知っているが、よーなのみでの開催では少々不足の感がある。 ・パネル展を見学しない市民への周知についても検討が必要。	A	2	1次評価のとおり	
		3	講演会・研修会の開催	公開講座の開催	市立大学	A	2	・平成26年度は講座の実施 4回、受講者 185名 平成27年度は講座実施 5回、受講者 197名 平成28年度は1月末現在で講座実施2回、受講者 195名 という状況であり、目標値は達成している。平成25年度の評価では大学だけでなく全庁的な取組が必要とされたが、企画課サイドでも講演会を開催してきており、事業としては達成していると思われる。	3	・大学公開講座で、男女共同参画に関するものや、時間帯や託児などに配慮して多くの人が気軽に参加できるものを企画してほしい。 ・啓発活動は十分だと感じる。人の目に触れていることがよい。好評価。	A	2	基本的に1次評価の通りである。平成28年度に開催した公開講座のうち1回は、託児ではないが子どもと一緒に参加できる講座として開催した。また、一般向けではないが、大学にある人権擁護委員会主催で教職員向け、学生向けにそれぞれハラスメント研修会を開催し、平成28年度は教職員53名、学生192名の参加があった。	
		4	ポスター・パンフレットによる啓発	内閣府・道等発行のポスター、パンフレット等の掲示各施設への設置	企画課	A	2	活動指標の目標値を達成している。 ・市内主要施設や商業施設に掲示依頼し啓発している。	3	・啓発活動は十分だと感じる。人の目に触れていることがよい。好評価。 ・市内施設・商業施設によく出向くが、目につかない。イベント情報のものばかり目につく気がする。	A	2	1次評価のとおり	
		5	報道機関への記事掲載依頼	記者クラブへの情報提供 男女共同参画週間新聞広告掲載	企画課	A	2	活動指標の目標値を達成している。 ・アンケート結果やセミナー開催などについて記事掲載していただいている。	3	・啓発活動は十分だと感じる。人の目に触れていることがよい。好評価。 ・新聞記事の中でもよく目にする。セミナーに参加できなくても、記事を読んで概要を知れるので良いと思う。	A	2	1次評価のとおり	
	6	男女共同参画に関する図書資料の充実	男女共同参画コーナーの設置	図書館	B	2	・H26、17冊、287日 / H27、2冊、289日 / H28、5冊、287日（購入冊数は本館のもの、分館は購入なし）(図書コーナー設置日数は本館・分館同日) ・分館も本館同様図書コーナーを設置 ・H27、H28の購入冊数は少ないが、H26に目標値を大幅に超える冊数を購入しており、H26～H28を平均すると一年あたり8冊となるので、おおむね目標は達成している	2	・コーナーが設置されていることについて、定期的に周知することが必要。 ・閲覧することがあるが、内容が難しいものが多く(活字ばかり)近寄り難い。購入件数より貸出件数はどう推移しているのか。 ・評価できるが年あたり8冊が的数かは判断に迷う。	B	2	限られた予算のなかで定期的に資料を更新しているが、今後も幅広い資料の収集に努める。貸出件数については、分類別統計のため困難である。外部評価にあるコーナー設置に係る周知の徹底は、図書館HPでPRするなど検討したい。		
	7	各種団体の把握(男女比率・活動内容など)	地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査	企画課	B	1	活動指標の目標値の設定の意義が不明。 ・地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査により、行政委員会の男女比率等、女性団体の活動等の把握に努めている。 ・その他の団体の男女比率、活動内容等についても積極的な把握に努めることを期待する。	2	・「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況調査」には「民間団体(女性団体等)との連携」の項目があるが、名寄市の男女共同参画をすすめるうえで、今後どのような団体と、どのような連携が必要か、という視点からの調査の充実を期待する。 ・個人と職場の意識改革が必要。	B	1	1次評価のとおり		
	8	実態調査による把握	労働相談所における実態把握	営業戦略課	B	1	【相談件数】H26 2件(男1女1) H27 0件 H28 0件 労働相談所＝営業戦略課 相談員＝労働行政に精通した3人を委嘱 HPIにて、労働相談場所や不当労働行為の内容等を周知しているが、近年利用者はない。しかし、厚生労働省の調査結果を見ると、社会的には労働相談件数が増加しており、実態把握に向けさらなる周知活動が求められる。	2	・継続的な周知が必要。 ・周知はHPだけか。広報なよろにも載っているのか。委嘱していても件数0では経費が勿体なく感じる。 ・相談所のPRが必要。	B	1	ホームページによる周知に加え、広報なよろに掲載し、幅広く周知を行う。		
	2 男女の人権尊重	①性教育の推進	9	エイズ・性感染症などに関する正しい知識の普及	性教育	学校教育課	A	2	・各学校の教育課程において順調に取り組まれており、引き続き取組を進めていくことが必要。	3	・引き続き取り組みをすすめてほしい。 ・試験のための学科教育をしていることにとどまっているのではないか。性感染症や、望まない妊娠の経験談などに触れ、考えさせる教育が必要。	B	2	毎年、各学校において、教育課程に準じ発達段階に応じた授業を実施している。学校教育の中で、外部評価員が希望する性教育の深化は困難である。家庭教育の充実も必要である。
			10	性犯罪防止の啓発	性犯罪防止の啓発	環境生活課	A	1	街路灯については、市街地全体を調整しながら新設・増設を行っており、あわせてLED化も進めている。とくに、不審者情報等が多くある大学周辺や通学路などへの街灯対策を講じるとともに、巡視活動の強化など犯罪防止に努めている。 (街路灯 H26年度16ヶ所 H27年度23ヶ所 H28年度3ヶ所) (防犯灯LED化 H26:348ヶ所、H27:199ヶ所、H28:2,323ヶ所) ※防犯灯については、H28年度で全て(2,870ヶ所)LED化済み。 (道路灯LED化 H26:7ヶ所、H27:10ヶ所)	3	・不審者情報について、名寄市のメール配信や道警のほくどくんメールなどが、いっそう活用されるとよいのではないかと。 ・学校からの注意の呼び掛けなど指導も必要。 ・女性としてありがたい。 ・街路灯の他に出来ることはないのか。下校時刻に付近を通るが、安全パトロールのボランティアなど見かけの事がまずない。地域ボランティアの見守りもあつたら良いのではないかと。	A	1	1次評価のとおり
					街路灯の増設	都市整備課						A	1	1次評価のとおり
11			学校における児童生徒の発達段階に応じた性教育、生命尊重の教育の充実	性教育	学校教育課	A	2	・毎年、教育課程において発達段階に応じた授業を実施している。	3	・引き続き取り組みをすすめてほしい。 ・必要最低限の教育しかしていない。	B	2	毎年、各学校において、教育課程に準じ発達段階に応じた授業を実施している。学校教育の中で、外部評価員が希望する性教育の深化は困難である。家庭教育の充実も必要である。	
12			性と生殖に関する正しい知識の普及	性教育	学校教育課					No.11と統合				

男女共同参画実施計画事務事業評価表（実施年度：平成26年度～平成28年度）

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)		最終評価(推進会議)			
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等	
2 男女の 人権 尊重	②母性の尊重	13		母性保護に関する法令・情報の周知	ホームページによる周知	企画課	A	2	ホームページの男女共同参画「働く女性の母性健康管理について」を掲載し、周知している。	2	・よりいっそうの周知を図ってほしい。 ・ホームページ以外での周知を図ることが必要では？ ・HPは知らなかった。市立病院の産婦人科外来に啓発カードを見かけていた。 ・ホームページを見ていない市民への周知について検討が必要。	A	2	1次評価のとおり	
		14		性の尊厳・母性保護に関する情報提供	相談・訪問事業	保健センター	A	2	各種事業において、必要に応じた情報提供を行い相談体制もとれているため、達成度Aとする。	3	・引き続き取り組みをすすめてほしい。 ・保健センターは妊・産婦、子育て中の女性には浸透しているが、それ以外の世代には身近ではないような感じがある。	A	2	1次評価のとおり	
	③暴力対策の推進	15	1	配偶者等からの暴力による被害者相談窓口の充実	相談員の配置		社会福祉課	A	2	家庭児童相談員と母子自立支援員が設置されており、各関係機関と連携してDV被害者が相談窓口に乗る体制がとられている。	2	・引き続き取り組みをすすめてほしい。 ・まだまだ周知不足。 ・引き続き力を入れてほしい。 ・設置されていることを知らなかった。体制をとってからの周知は進んでいるのか。	A	2	1次評価のとおり
			2		相談員の設置		こども未来課						A	2	1次評価のとおり
		16	1	配偶者等からの暴力防止に向けた啓発の促進	パンフレット・広報なよろによる啓発活動		企画課	A	2	パンフレットや相談窓口カードの公共施設への設置・配付が継続して取り組まれている。	3	・引き続き取り組みをすすめてほしい。 ・ポスターなどの周知も必要。 ・窓口のPR方法を検討する必要がある。	A	2	1次評価のとおり
					暴力防止に向けた啓発の促進		環境生活課						A	2	1次評価のとおり
					パンフレットによる啓発活動		社会福祉課						A	2	1次評価のとおり
					パンフレットによる啓発活動		こども未来課						A	2	1次評価のとおり
		17	1	被害者の早期発見	各種の相談業務		環境生活課	A	2	各関係機関と連携し、被害者が相談窓口へつながる体制が取られている。	3	・引き続き関係機関が連携した取り組みをすすめてほしい。 ・まだ周知不足。 ・何についての相談はどこになるのか、機関が沢山あり、複雑で分かりづらいと思う。	A	2	1次評価のとおり
					連携体制の確立		社会福祉課						A	2	1次評価のとおり
					連携体制の確立		こども未来課						A	2	1次評価のとおり
		18	1	相談・保護体制の確立	各種の相談業務及び関係機関との連携		環境生活課	A	2	関係機関が連携し被害者の保護から自立支援につながる体制が取られている。	3	・引き続き関係機関が連携した取り組みをすすめてほしい。 ・何についての相談はどこになるのか、機関が沢山あり、複雑で分かりづらいと思う。	A	2	1次評価のとおり
					マニュアル等の作成		社会福祉課						A	2	1次評価のとおり
					マニュアル等の作成		こども未来課						A	2	1次評価のとおり
					マニュアル等の作成		地域包括支援センター						A	2	1次評価のとおり
		19	1	被害者の自立支援	自立のために関係機関と情報共有を行い相談体制の維持、充実		環境生活課・市民課・税務	A	2	関係機関が連携し被害者の保護から自立支援につながる体制が取られている。	2	・事業の実施が他課にゆだねられていることから成果が確認できないため評価は難しいですが、「男女共同参画実施計画の取り組みは他課に委ねること」と認識し、評価した。忙しいところ大変と思うが、各課の成果を確認し、参考資料として添付していただければ、本計画の次のステップに役立つかと思う。 ・どのような具体的支援が行われているのか全く分からない。	A	2	1次評価のとおり
					被害者に係る情報の保護、生活の支援、就業の支援、住宅の確保、子どもの就学・保育等		社会福祉課						A	2	1次評価のとおり
					被害者に係る情報の保護		こども未来課						A	2	1次評価のとおり
					生活の支援		こども未来課						A	2	1次評価のとおり
					就業の支援		こども未来課						A	2	1次評価のとおり
住宅の確保					こども未来課	A	2						1次評価のとおり		
子どもの就学・保育等					こども未来課	A	2						1次評価のとおり		
住宅の確保					建築課	A	2						1次評価のとおり		
被害者に係る情報の保護、子どもの就学・保育等					学校教育課	A	2						関係部署との情報共有、および連携した支援を行っている。		
20	1	子どもへの虐待・パートナーの暴力・セクハラは犯罪であることを広報等で啓発	広報なよろ・ホームページ・パンフレットによる啓発活動		企画課	A	2	「ぼっけ」(基幹相談支援センター事業)設立のため相談窓口の充実・情報提供等の取組が図られてきているため達成度Aとする。	2	・ぼっけは障害の相談窓口であると思う。「子ども」という場面で考えるとより一層のPRが必要と考える。	A	2	1次評価のとおり		
			パンフレット・ポスター等の公共施設等に設置・配布		環境生活課						A	2	1次評価のとおり		
			パンフレットによる啓発活動		社会福祉課						A	2	1次評価のとおり		
			パンフレットによる啓発活動		こども未来課						A	2	1次評価のとおり		
			パンフレットによる啓発活動		児童センター						A	2	1次評価のとおり		
			パンフレットによる啓発活動		市立大学						A	2	学生には、学生生活ガイドブックで人権擁護・ハラスメントの基礎知識を周知するとともに、ガイダンス等で啓発している。また、人権擁護委員会ですべてのトイレ(便器ごと)に人権擁護・ハラスメントのポスターを貼付するとともに、携行できる啓発カードを配布し、相談したい場合にすぐ連絡先がわかるものとしている。		
④啓発活動の充実	21		フィルタリング機能の設定方法の周知	生徒用リーフレットの配布	学校教育課	No.22と統合									

男女共同参画実施計画事務事業評価表（実施年度：平成26年度～平成28年度）

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)		最終評価(推進会議)			
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等	
2 人権 男女 尊重	④啓発活動の充実	22		有害サイトの危険性の周知	生徒用リーフレットの配布	学校教育課	A	2	(活動指標の目標設定なし。) ・児童生徒に対して、有害サイト等の危険性についての意識啓発を継続して実施している。 H26:実施 H27:実施 H28:実施	2		A	2	パンフレットや講演等の実施により、児童生徒の有害サイト等の危険性に対する意識啓発が行われている。	
3 男女平等の 視点に立っ た教育の推 進	①家庭における男女平等教育の推進	23		家庭教育セミナーの開催	公民館事業	生涯学習課	A	2	・家庭教育支援講座を実施しており、平成28年度は「親子ふれあい体操」と全体的な「講演会」を開催している。講演会参加者数は30人。	2		-	4	【No.70(Ⅱ-41)に統合】	
		24		家族で協力し合う教室・講座等の開催	公民館事業	生涯学習課	A	2	・平成26年度から28年度は例年どおり3つの行事(夏休み子ども写真会、新春こども書き初め広場、冬休み子ども料理教室)が行われ、毎年計100名の参加があった。学校や広報等で周知され、男女問わず親子で参加しやすい事業であり、男女共同で子育てに関わり家庭でも協力し合うきっかけになる。	2		B	1	親子で参加できる事業を実施しており、親子の絆を深めつつ体験できる機会として貴重なものとなっている。父親の参加が少ないことから、さらなる充実を目指す。	
		25		教養講演会の実施	市民講座	企画課	A	2	・毎年1回、男女共同参画社会の普及啓発のため、講演会を実施しており、参加者は100名程度となっています。(平成28年度については、平成29年2月5日に開催予定です。) ・例年並に、普及啓発が行われていたと考えます。 ・校長会を通して小・中学校にリーフレットを配布しており、今後も継続していく。	2		A	2	1次評価のとおり	
	②学校における男女平等教育の推進	26		児童生徒用リーフレットの作成	小・中学生用リーフレットの作成・配布	企画課	A	2		3		A	2	1次評価のとおり	
		27		教職員研修の実施	北海道教育委員会主催の研修会	学校教育課	B	2	・道徳教育の中に男女平等についても触れられており、研修には平成26年度年3名、27年度9名、28年度6名が参加。今後も北海道教育委員会等により研修が開催される際には、より多くの教職員に参加するよう呼びかけていく。	2		B	2	市独自の研修会等が無いため、引き続き、北海道教育委員会等の実施する各種研修会への参加をよびかけていく。	
		28		小中学校PTA連合会における啓発活動	「子育て」についての講演会	学校教育課	A	2	・毎年、名寄市PTA連合会主催の研究大会において「子育て」をテーマとした講演会が実施されている。	2		A	2	毎年度、PTA連合会による「子育て」についての講演会等が実施されている。	
	③地域・職場における男女平等教育の推進	出前トーク・講演会等の充実	29		広報・ホームページ等で掲載し周知をする		企画課	A	2	情報公開しているが、実績がない状況。	2		A	2	1次評価のとおり
			30		町内会における啓発活動	町内会長・行政区長との行政懇談会にて女性役員の参画促進依頼	企画課	B	3	・毎年「町内会長・行政区長との行政懇談会」にて、女性役員の参画促進のため、推進資料を配布しています。 ・周知という目標では、達成していると思われませんが、実際には、町内会長・行政区長に占める女性の割合は、1%にも満たしていません。会長になりづらい課題を把握して、参加しやすい状況の形成が必要と考えます。	2		B	3	・結果が期待できる啓発活動を計画し、更に推し進める必要を感じる。 ・家庭仕事をこなせない男性が多いために、家庭仕事を主に行う女性が外に出られないのではないか。男性に対する家事教育が必要。 ・あえて女性が必要性は感じない。割合は別として順調に取り組まれていると判断する。
			31		高齢者大学における男女平等教育の充実	ピヤシリ大学で男女共同参画に関する教育の実施	生涯学習課	A	2	活動指標の目標値を達成。 ・引き続き公開講座や通常講座のなかで、対応するテーマを取り上げている。 (以下 ピヤシリ、友朋、瑞生各高齢者大学在籍数) H26:61人、21人、100人程度 H27:50人、18人、100人程度 H28:49人、16人、100人程度	2		B	1	大学のカリキュラムとして男女共同参画自体をテーマとした授業は実施できていないが、学年や自治会活動など、性別を問わず、役割分担や協力関係が築かれており、さらなる充実を目指す。
			32	1 2	商工団体への啓発依頼	ホームページによる啓発活動 アンケート調査による啓発活動	企画課 営業戦略室	No.58と統合							

基本目標Ⅱ 家庭・地域・職場における男女共同参画の促進

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)		最終評価(推進会議)			
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等	
1 企画や政策・方 針女共 同参画 への促 進	①委員会・審議会などにおける女性委員の参画促進	33	1	行政委員会等への女性枠設定の確立	行政委員会等への女性委員の任命	環境生活課	A	2	行政委員会等への女性委員の任命は2年任期となっており、H26年度・28年度ともに9名中3名が女性委員となっている。農業振興対策協議会及び多目的研修センター運営委員会への女性枠の選出については、各委員会ともに女性枠の設定はないものの農業振興対策協議会には26名中3名、多目的研修センター運営委員会は10名中6名の女性が委員選出されている。女性枠の選出がなくとも男女がともに役割を担う本来の姿を鑑みると、継続した方向性で委嘱すべきと考える。	3		A	2	1次評価のとおり	
			2		農振協議会への女性枠設定	農務課									1次評価のとおり
			3		多目的研修センターへの女性枠設定の確立	生涯学習課									1次評価のとおり
	②役職などへの女性の登用拡大	34	1	女性委員は50%、委員長は当面30%の目標設定	名寄市各種委員の任免に関する要綱に基づく女性委員の選出について周知	企画課	B	1	・女性委員、女性委員長の登用率は目標値には達していないものの、平成26年度以降は上昇してきている。今後も継続して周知を図っていく。 H27:女性委員比率30.7%	2		B	1	1次評価のとおり	
						企画課	No.58と統合								
							2	ホームページによる啓発活動	営業戦略室	No.35と統合					

男女共同参画実施計画事務事業評価表（実施年度：平成26年度～平成28年度）

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)			最終評価(推進会議)				
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等			
1 男女共同参画や参画の場への促進	②役職などへの女性の登用拡大	37		女性を対象とした研修機会の提供	人材開発センター利用促進補助による研修機会の提供	営業戦略室	B	2	人材開発センターの研修制度の利用促進は、センターHP・新聞広告・ポスター等で啓発しており、利用実績は、H26年度56件、H27年度52件、H28年度(28年9月末時点)29件となっており、参加対象は男女に限ることなく、研修の機会が提供されている。	2		B	2	1次評価のとおり			
	③市の政策・方針決定の場への男女共同参画の促進	38		市役所における女性職員の職域拡大	①新規採用者の男女比率の考慮②女性職員の職域拡大③各種職員研修④人事希望調査	総務課	A	2	・新規採用者女性比率 H26:45.00% H27:32.00% H28:50.00% ・女性受験率 H26:28.30% H27:20.75% H28:24.24% ・新規採用者女性比率がH28は50%と半数に達している。H27においては女性比率は32%と低いが、そもそも女性の受験者数が少ないこと、男性よりも女性の合格率が高いことを考慮に入れると、実績としては達成していると言える。	3		A	2	1次評価のとおり			
		39		市役所における女性管理職の登用促進	管理職への女性登用	総務課	B	2	・女性管理職の登用については、男女の区別なく実施するものであるが、年々女性の管理職登用率は増加傾向にあり、平成28年現在20%に達しており、目標値の30%に満たないが、着実に登用率の上昇がみられる。 各種事業において、必要に応じた情報提供を行い相談体制もとれているため、達成度Aとする。	2	・50%でなくてはならない。女性の民意が市政に反映されないのは男性主得だからである。	B	2	管理職への登用は男女の区別なく実施しており、女性職員の増加とともに女性の管理職登用率も増加傾向にある。今後も、男女の区別をすることなく、管理職への登用を実施していく。			
2 家庭・地域社会における男女共同参画の促進	①家庭生活における男女共同参画の促進	40		男性向けの料理・育児・介護教室の実施	高齢者食生活改善事業	高齢介護課	A	2		3	・男性向け料理教室の記事が新聞で載っており実施しているのがよくわかる。 ・高齢者だけでなく若年者にも必要。特に子育て世代には早急が必要。	A	2	1次評価のとおり			
		41		家庭教育に関する研修会の開催	家庭教育支援講座	生涯学習課	B	1	活動指標の目標値を達成していないが、継続して取り組んでいる。 H26:2回開催、141人参加 H27:3回開催、71人参加 H28:3回開催、(94人参加)※3回目の講座はこれから実施。	2	・実施状況がよくわからない。 ・存在を知らなかった。	B	1	家庭教育の方向性に向けて「親子ふれあい体操」や講演会を開催している。講演会は男性の参加も多いが、体操は母親中心の参加となっており、さらなる充実を目指す。			
	②地域・社会活動における男女共同参画の促進	42		男女がボランティア活動・町内会活動・PTA活動に参加しやすい環境の促進	ボランティア活動	社会福祉課	B	2	ボランティアセンター事業については一定の成果を挙げているが、町内会活動等、地域の方針等に女性が参画できるような取組が必要と考えるためB評価とする。	2	・町内で女性の活動を見て知っている。 ・男性に家庭仕事の教育が必要。 ・日々ボランティアセンター事業に従事しているが、女性は活躍している。	B	2	1次評価のとおり			
		43		家事・育児に専念する女性の社会進出の促進	広報なよろによる啓発活動	企画課	A	2	・広報の欄に毎月、男女共同参画に関する記事を掲載しており、年に数回このコーナーを利用して、休暇制度等、育児・介護をしながらでも女性が社会進出できるような制度等を紹介しています。 ・女性が働くうえで有利な制度変更等の情報(リーフレット等)を関係施設等に配布しています。	2	・広報での活動を見て知っている。	A	2	1次評価のとおり			
		44		農村地域活動への女性参画の促進	地産地消フェアの食品加工展示会へ女性団体枠設定	農務課	A	2	食品加工に関しては、女性グループ中心となって農産加工や朝市等の活動が行われている。その他、地域では多くの行事や活動が行われているが、性別に限られることなく、家庭での役割分担を行いながら幅広く参加する中で、地域活性化に寄与した取り組みが行われている。	2	・女性が活躍していると思っていた。	A	2	1次評価のとおり			
		45		町内会の役職について男女役割分担意識の見直し	町内会長・行政区長との行政懇談会にて女性役員の参画促進依頼	企画課						No.30と統合					
3 男女が働きやすい環境づくりの推進	①職業生活と家庭生活の両立支援	46	1	多様な保育サービスの充実	延長保育サービスの実施	こども未来課	A	2	多様なニーズに対応した保育サービスの提供を継続して実施してきているため、達成度Aとする。	3		A	2	1次評価のとおり			
			2		一時保育サービスの実施	こども未来課									A	2	1次評価のとおり
			3		障害児保育サービスの実施	こども未来課									A	2	1次評価のとおり
			4		乳児保育サービスの実施	こども未来課									A	2	1次評価のとおり
			5		へき地保育サービスの実施	こども未来課									A	2	1次評価のとおり
			6		認可外保育所の情報提供	こども未来課									A	2	1次評価のとおり
			7		保育所給食サービスの実施	こども未来課									A	2	1次評価のとおり
			8		病後児保育サービスの実施	こども未来課									A	2	1次評価のとおり
	47		子育て支援センターの利用促進	ホームページや広報なよろによる啓発活動	こども未来課	A	2	定期的に事業の周知を継続して実施している。	2	・よくやっていると思う。 ・支援センター内が狭い、いつも同じ玩具、同じ遊びで飽きるとの声が聞かれる。改革必要。	A	2	1次評価のとおり				
	48		放課後児童対策の充実	児童受け入れ体制の充実	児童センター	A	2	・5か所の児童クラブ(公立3か所:東児童クラブ、南児童クラブ、風連児童クラブ、民間2か所:ころぼっくろ、どろんこほす)すべてで、基本的に障害をもつ児童の受け入れ体制が整っている。(重度など特別な理由がある場合は、受け入れ可能な他施設への斡旋等もやっている。)	3	・よくやっていると思う。	A	2	すべての施設で、障害をもつ児童の受入体制は整っている。また支援員は、障害のある子どもを理解するための基礎知識を学ぶため、放課後児童支援員認定資格研修会に積極的に参加し、障害児童を安全安心に受入出来る体制を図っている。				
	49	1	育児休業制度・介護休業制度等の情報提供・取得しやすい職場環境整備の促進	広報・ホームページ等の掲載による啓発活動	企画課	No.58と統合											
		2		ホームページ・広報による啓発活動	営業戦略室												
50		多様な介護サービスの充実		高齢介護課	基本目標Ⅲに掲載												
51		介護保険制度の情報提供と利用促進	ホームページによる啓発活動	高齢介護課	A	2	定期的に事業の周知を継続して実施している。	2	・活動を知っている。	A	2	1次評価のとおり					
52		介護しやすい設備・住宅の促進	高齢者等住宅整備資金貸付制度	高齢介護課	B	3	制度の新規申請が少なく、他助成制度との調整を図るなど事業の見直しについて検討を要する。	1	・利用者がよく理解している事が重要だと思う。高齢の方への理解しやすいインフレット作りなどあればと思う。	B	3	1次評価のとおり					

男女共同参画実施計画事務事業評価表（実施年度：平成26年度～平成28年度）

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)			最終評価(推進会議)		
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等	
3 男女が働きやすい環境づくりの推進	①職業生活と家庭生活の両立支援	53	1	男女がともに参加しやすい家事、育児、介護講座の実施	お父さん・お母さん教室の開催	保健センター	A	2	保健センターでは夫婦で参加しやすい土曜日に教室を開催をしている。また、市立病院では出産に向けて夫婦・祖父母も含めた母親教室(月2回)を開催してきている。以上のことから達成度Aとする。	3	・病院で活動しているのを知っている。	A	2	1次評価のとおり	
			2		母親教室の開催	市立総合病院						A	2	1次評価のとおり	
	②労働の場における男女平等の推進	54		労働相談窓口の利用促進	ホームページ・広報なよろによる啓発活動	営業戦略室	B	1	HPでは、労働相談所の説明と不当労働行為に関する労働条件等を掲載し、利用を呼びかけているが、広報での周知は未実施となっている。 ※充実を要する理由は事業No.9と同様	2	・もう少しPRした方が良いのではないかな。	B	1	ホームページによる周知に加え、広報なよろに掲載し、幅広く周知を行う。	
					55	1									事業所におけるセクハラ防止の制度化促進
	2	名寄市職員セクハラ防要綱の公開	総務課	A		2	1次評価のとおり								
	3	雇用機会均等法周知	営業戦略課	A		2	1次評価のとおり								
	56	1	事業所における差別環境撤廃に向けた啓発	雇用機会均等法の周知	企画課	No.58と統合									
		2		雇用機会均等法の周知	営業戦略室										
	57	1	男女雇用機会均等法・労働基本法・次世代育成支援対策推進法などの周知	ホームページによる啓発活動	企画課	No.56と統合									
		2		ホームページによる啓発活動	営業戦略室										
	58	1	雇用者や企業に対する育児休業制度・介護休業制度利用の啓発	啓発活動	企画課	B	1	厚労省から案内が来た際は、HPや広報により周知は行っており、制度改正の内容は周知しているが、利用促進に向けた啓発活動には至っておらず、雇用者や企業、就労者に対する利用啓発に向けた取り組みが求められる。	1	・労働の場での男女平等は、あまり進んでいないイメージがあるので、積極的にPRしていったほうがいい。 ・制度利用を促進した企業に対して手当てや特別の便宜を図るなど何か特典があれば尚よいのではないかな。	B	1	1次評価のとおり		
		2		ホームページ・広報による啓発活動	営業戦略室						B	1	1次評価のとおり		
	59	1	各種休業制度を利用しやすい労働条件の向上促進	啓発活動	企画課	No.58と統合									
		2		ホームページ・広報による啓発活動	営業戦略課										
③農業や自営業で働く男女平等の推進	60		酪農ヘルパーの活用促進と農業ヘルパー制度の確立	酪農ヘルパー制度事業	農務課	A	2	酪農ヘルパーについては既に組織化されており、酪農家の休日確保のため有効活用されている。農業ヘルパーについては各農家において高齢者事業団や作業受委託の活用、機械の高度化に伴う農作業の省力化を図っていることから制度化に至っていない。 各ヘルパーの選考については、性別による差は無いが、実情としては男性就労者が多いのが現状となっている。	3	・男性の方が多い職業のため仕方ないことなのか。	A	2	酪農ヘルパー事業は、酪農家がヘルパーを利用することにより休日を確保し、社会参加等の推進を図るための事業であり、有効に活用されている。		
				61	家族経営協定の締結推進	家族経営協定書の作成補助等	農業委員会	A	1	農業普及センターが中心となり、普及啓発活動と既締結者へのフォローアップに努めている。 【締結農家数】 H26 210/654 H27 199/654	2	・女性がかんぼっているイメージがある。 ・進歩が見られない。内容が不明でした。(データ上)	A	1	1次評価のとおり
				62	自営業者への啓発活動	広報なよろ・ホームページで啓発	企画課	A	2	活動指標の目標値を達成。 ・広報なよろ・ホームページにポジティブアクション・ジェンダー・ワークライフバランス等に関する記事を掲載し、啓発に努めている。	2	・PRしているのは知らない。	A	2	1次評価のとおり
④再就職希望者やパートタイム労働者などへの支援・相談体制の充実	63		パートタイム労働法及び労働関係法令の周知	ホームページ・広報による啓発活動	営業戦略室	B	2	HPで、関係法を周知しているが、広報での啓発活動は行っていない	2	・広報なよろによる啓発をうたうなら早く広報に掲載したらどうか。	B	2	ホームページによる周知に加え、広報なよろに掲載し、幅広く周知を行う。		
	64		雇用拡大・労働条件向上のための啓発	商工支援ガイドの発行	営業戦略室	B	2	中小企業・商店街・創業者向けの支援メニューガイドブックを発行している。その中で雇用拡大に向けた支援策等を紹介。ガイドブックをHPIにアップし周知に努めている	2		B	2	1次評価のとおり		
	65		求人情報の提供	求人情報誌の設置	営業戦略室	B	2	求人情報誌の設置にとどまっている(問い合わせがあった際は、ハローワークを紹介している)	2		B	2	1次評価のとおり		
	66	1	職業訓練・技能訓練・資格取得等に関する各種講座の受講促進	ホームページによる啓発活動	営業戦略室	B	2	HPを使い、通年雇用に関する情報や各種講座情報を周知している 人材開発センターへの補助(9,100千円)を継続している	2		B	2	1次評価のとおり		
2		人材開発センター利用促進補助		営業戦略室	B						2	1次評価のとおり			

基本目標Ⅲ 健康づくりと福祉の充実

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)			最終評価(推進会議)		
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等	
1 生涯に健康づくり	①健康づくりの意識啓発と健康管理の推進	67	1	各種健康診査の受診率向上と予防対策の充実	特定健診・健康診断の実施	保健センター	A	2	平成26年度から市独自策でがん検診(胃・肺・大腸・乳)の対象年齢を引き下げ、特定健診(健康診査)を含め性別に関わらず若い世代からの健康管理に取り組みの機会として事業を実施してきており、達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
			2		各種健康診査への受診率向上促進	保健センター						A	2	1次評価のとおり	
			3		健康まつりの開催	保健センター						A	2	1次評価のとおり	
			4		特定保健指導の実施	保健センター						A	2	1次評価のとおり	
			5		がん検診(胃・肺・大腸・前立腺がん)・結核検診・エキノコックス症検診・肝炎ウイルス検診の実施と啓発	保健センター						A	2	1次評価のとおり	

男女共同参画実施計画事務事業評価表（実施年度：平成26年度～平成28年度）

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)			最終評価(推進会議)		
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等	
1 生涯にわたる健康づくり	①健康づくりの意識啓発と健康管理の推進	67	6	各種健康診査の受診率向上と予防対策の充実	がん検診推進事業の実施	保健センター	A	2	事業No.67-6 については事業No.73へ統合			A	2	1次評価のとおり	
		68		各種健康相談窓口の利用促進	ホームページ・広報なよる等による啓発活動	保健センター	A	2	平成27年度から保健師の地区担当制を導入し、相談窓口として各種総会・地区での相談等でPRしながら、健康相談・栄養相談を実施してきており達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
		69		各種健康教室の充実	健康教室・リハビリ教室	保健センター	A	2	地域や各団体からの教室開催の依頼にあわせ、疾病予防及び健康の保持・増進のために必要な情報提供に努めてきているため達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
		70	1	スポーツ・レクリエーションの場の提供	チャレンジデーの実施	高齢介護課	B	2	・チャレンジデーの実施については、3カ年ともに目標値は2万人で(H26:18,366人62.2%、H27:17,681人60.8%、H28:17,463人61.0%)となっている。目標値の65%には届かなかったが、名寄市全体が参加して行えるような大きなイベントとなっている。ラジオ体操や綱引き、パークゴルフ、体操教室等への参加についても、広報やポスター、ラジオで案内をしている。今後も継続したら良いと考えます。 ・各種スポーツ大会の開催については、「なよる憲法記念ハーフマラソン(H26年:607名、H27年:736名、H28年:955名)」「有森裕子なよるひまわりリレーラン(H26年:300名、H27年:376名、H28年:376名)」「市民スキーの日(H26年:223名、H27年:172名、H28年:平成29年3月4日開催予定)」を実施しており、前年対比で参加人数を比較すると増加傾向である。スポーツ大会については増加しており、目標は達成しているので実質A評価であるが、チャレンジデーについては、目標値を下回っているため、B評価とします。	2	。チャレンジデーに参加しているが、報告を忘れていて、参加人数が入っていない時期があった。 ・役所からの確認電話があった時期もあり、人数の確認もれがないかと思う。(会社の場合)	B	2	1次評価のとおり	
					各種スポーツ大会の開催	スポーツ・合宿推進課									B
		71	2	食生活の改善促進	高齢者食生活改善事業	高齢介護課	A	2	様々な年代に向け、女性の多く所属する市内各種団体等(JA女性部、食生活改善協議会、名寄市立大学等)と連携しながらそれぞれに応じた食育に関する取り組みが図られてきているため達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
					食育の推進	保健センター						A	2	1次評価のとおり	
					食育の推進	農務課						A	2	1次評価のとおり	
		72		更年期障害(骨粗しょう症。うつ病など)の予防対策の推進	骨粗しょう症検診の実施と更年期障害へ対応などの啓発	保健センター	A	2	健康まつりでの骨密度測定の実施や健康相談等の中で随時対応してきているため達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
		73		がん検診の受診促進	乳がん・子宮がん検診の実施	保健センター	A	2	事業No.67-6と統合。平成27年度に国庫補助を受けていたがん検診推進事業を検証し、全国的に女性の大腸・子宮・乳がんが増加していることや男性に比べ職場検診等の受診機会が少ない女性に対して、女性のためのがん検診推進事業を平成28年度より市独自策として開始し、市民サービスの充実を図ったことから達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
		74		エイズ・性感染症・妊娠・出産の相談窓口体制の充実	健康相談・栄養相談・家庭訪問などの実施	保健センター	A	2	保健所や各医療機関等と連携しながら、随時健康相談・栄養相談・家庭訪問等を実施してきており達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
		75	1	出産と母体の大切さに関する教育の推進	お父さん・お母さん教室の開催	保健センター	A	2	保健センターでは夫婦で参加しやすい土曜日に教室を開催をしている。また、市立病院では出産に向けて夫婦・祖父母も含めた母親教室(月2回)を開催してきている。以上のことから達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
					母親教室の開催	市立総合病院						A	2	1次評価のとおり	
76	1	安心して出産できる環境整備	妊婦一般健康診査の一部助成	保健センター	A	2	妊婦一般健康診査(14回分)の一部助成により、経済的負担の軽減を図り、また、こんにちは赤ちゃん訪問は対象に100%訪問を実施してきている。名寄市立総合病院では、NICU病棟が稼働し、LDRを利用した出産も行われ、安心して出産できる環境整備につながってきているため、達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり			
			こんにちは赤ちゃん訪問	保健センター						A	2	1次評価のとおり			
			NICU病棟、LDRを完備	市立総合病院						A	2	1次評価のとおり			
77	1	医療機関との連携強化による各種母子保健事業の充実	乳幼児健康診査	保健センター	A	2	事業No.77-1、No.77-3は対象者への個別周知の徹底で90%以上の受診率となっており、未受診者に関しては各機関・庁内関係部署と連携を実施し状況未把握者はいない。事業No.77-2、77-4に関しては未接種者に対する定期的な接種勧奨を実施し、95%を超える接種率を保持している。事業No.77-5に関しては、健診等を通じ情報提供を実施してきている。事業No.77-6は乳幼児健診及びBCG接種には医師派遣が行われており、その他の予防接種については個別接種の導入により適切な時期に接種が行われる環境が整っている。以上の状況から、達成度Aとする。	3		A	2	1次評価のとおり			
			予防接種(集団接種)	保健センター						A	2	1次評価のとおり			
			股関節脱臼検診	保健センター						A	2	1次評価のとおり			
			予防接種(個別接種)	保健センター						A	2	1次評価のとおり			
			予防接種(任意接種)	保健センター						A	2	1次評価のとおり			
			予防接種(任意接種)	市立総合病院						A	2	1次評価のとおり			
2 環安 境心 づく り暮 らせる	①高齢者の自立支援の推進	78		相談窓口の充実	包括支援事業	地域包括支援センター	No.85と統合								
		79	3	高齢者福祉サービスの充実	福祉ガイドブック作成事業	社会福祉課	A	2	高齢者福祉サービスは自立支援のため、性別を問わず様々なサービスが提供されている。事業No.79-4の肺炎球菌ワクチン接種に関しては平成26年度からは国の定期接種化となったが、市独自策として、国の対象よりも拡大した助成をしているため達成度Aとする。	2		A	2	1次評価のとおり	
					自立支援デイサービス事業、外出支援サービス事業、配食サービス事業	高齢介護課						A	2	1次評価のとおり	
					高齢者等住宅整備資金貸付制度	高齢介護課						A	2	1次評価のとおり	
					予防接種(インフルエンザ・肺炎球菌)	保健センター						A	2	1次評価のとおり	
					高齢者等住宅整備資金貸付制度	建築課						A	2	1次評価のとおり	



男女共同参画実施計画事務事業評価表（実施年度：平成26年度～平成28年度）

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)		最終評価(推進会議)			
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等	
2 安心して暮らせる環境づくり	①高齢者の自立支援の推進	80	1	地域住民やボランティアによる支援体制の推進	ボランティアセンター事業	社会福祉課	A	2	ボランティア講座の開催は一定の成果がある。今後もニーズにあった講座を開催していく。	2	・参加人数も増えている。	A	2	1次評価のとおり	
			2		緊急通報システム設置事業、救急医療情報キット交付事業	高齢介護課						A	2	1次評価のとおり	
			3		除雪サービス事業	高齢介護課						A	2	1次評価のとおり	
		81	1	介護予防事業の推進	寝具洗濯乾燥消毒サービス事業、自立支援ヘルパー派遣事業、自立支援ショートステイ事業	高齢介護課	A	2	介護予防普及啓発事業として講演会を実施している。	3	・担当課、その場所がどこにあるかを分かりやすく見やすい冊子があれば良いかなと思う。 ・利用者のニーズの把握が必要と思う。 ・各種サービスの充実が必要と思う。 ・こまごまと開催される介護啓発イベントは気軽に近寄りやすく良いと思った。	A	2	1次評価のとおり	
					2	包括支援事業						地域包括支援センター	A	2	1次評価のとおり
					3	介護予防事業						地域包括支援センター	A	2	1次評価のとおり
		82	1	道路・住宅・公共施設などのバリアフリー環境の推進	公営住宅及び公共施設建設	建築課	A	2	公営住宅に関しては、住宅マスタープランや公営住宅棟長寿命化計画等による活動指標の目標達成向け、高齢者の自立を支援する体制づくりを進めている。市道車歩道改修についても、凍上や老朽化対策を適宜対応している。 ●高齢者に対応した住宅の整備 ・市営シルバーハウジング(29戸)の供給、維持管理を行っている。 ●ユニバーサルデザインの普及 ・高齢者だけでなく全ての人に配慮したユニバーサルデザイン住宅の設計、建築を行っている。	2	・古い公営住宅が多くバリアフリー対応にはほど遠いのではないだろうか。 ・冬道のあり方について検討が必要ではないのか。 ・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり	
					2	市内市道車歩道改修(バリアフリー対応)						都市整備課	A	2	1次評価のとおり
		②介護サービスなどの充実		83	介護保険制度の情報提供	ホームページによる情報提供	高齢介護課	A	2	介護サービスは高齢者が自立した生活を続けていくため、生活支援サービスの情報提供と支援をおこなっている。	2	・ホームページの情報提供は難しい物があるのではないのか。 ・ホームページ未利用者への周知も必要ではないのか。	A	2	1次評価のとおり
				84	在宅介護家族への支援	家族介護用品支給事業	高齢介護課	A	2	在宅で要介護4または5の高齢者を介護している介護者に対し実施している。	2	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり
				85	介護相談窓口の充実	包括支援事業	地域包括支援センター	A	2	総合相談支援・生活支援の情報提供をおこない、情報を共有しながら体制充実を図っている。	3	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり
				86	在宅介護のための講座の開催	家族介護者交流事業	高齢介護課	A	2	介護者相互の交流と心身のリフレッシュを図るため実施している。	2	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり
③ひとり親家庭の生活支援		87	1	経済的・社会的支援の充実	児童扶養手当給付	こども未来課	A	2	ひとり親の自立を支援するため多様な社会的・経済的支援がなされている	2	・制度の周知が必要と思う。 ・地域ニーズの把握が必要と思う。 ・支援はなされているが、既存制度ではフォローできない場面もある。	A	2	1次評価のとおり	
					2	母子家庭自立支援教育訓練給付金事業						こども未来課	A	2	1次評価のとおり
					3	母子家庭等日常生活支援事業						こども未来課	A	2	1次評価のとおり
					4	母子家庭高等技能訓練促進事業						こども未来課	A	2	1次評価のとおり
					5	母子福祉資金貸付制度						こども未来課	A	2	1次評価のとおり
		88	相談体制の充実	家庭児童相談員の設置	こども未来課	A	2	母子自立支援員と共にこども未来課に配置し、情報提供しながら相談時の体制充実を図っている。	2		A	2	1次評価のとおり		
		89	保育サービスの充実		こども未来課	基本目標Ⅱに掲載									
④障がい者の生活支援		90	1	障がい者福祉サービスの充実	自立支援医療の給付、補装具費の給付	社会福祉課	A	2	障がい者に対して各種給付や割引制度、支援体制を継続して実施している。	2	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり	
					2	自動車運転免許取得費助成制度、自動車改造費助成制度						社会福祉課	A	2	1次評価のとおり
					3	交通費等割引制度						社会福祉課	A	2	1次評価のとおり
					4	療養介護、施設入所者支援、生活介護、居宅介護、重度訪問介護、短期入所、共同生活介護						社会福祉課	A	2	1次評価のとおり
					5	自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、知的障害者通勤寮・宿泊型自立訓練施設						社会福祉課	A	2	1次評価のとおり
					6	身体障害者更生施設・療養施設・授産施設、知的障害者更生施設・授産施設						社会福祉課	A	2	1次評価のとおり
					7	特別児童扶養手当給付						こども未来課	A	2	1次評価のとおり
					8	児童発達支援事業/総合療育センター事業						こども未来課	A	2	1次評価のとおり
		91	障がい者の生活相談の充実	相談支援事業	社会福祉課	A	2	「ぼっけ」(基幹相談支援センター事業)設立のため相談窓口の充実・情報提供等の取組が図られてきている。	3	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり		
		92	社会参加の促進と自立支援	地域活動支援センター事業、日常生活用具の給付、聴覚障害者協力員派遣事業、移動支援、日中一時支援	社会福祉課	A	2	「ぼっけ」(基幹相談支援センター事業)設立のため相談窓口の充実・情報提供等の取組が図られてきている。	3	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり		
93	地域住民やボランティア組織の連携による生活支援の推進	ボランティア活動支援事業	社会福祉課	A	2	「ぼっけ」(基幹相談支援センター事業)設立のため相談窓口の充実・情報提供等の取組が図られてきている。	3	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり				

男女共同参画実施計画事務事業評価表（実施年度：平成26年度～平成28年度）

方針	施策	事業No.	枝番	実施計画事務事業	実施事業	担当課	第1次評価(WG評価)			外部評価(推進委員会評価)		最終評価(推進会議)		
							達成度	事業の方向	理由(事業状況)	評価	意見等	達成度	事業の方向	意見等
2 安心して暮らせる環境づくり	⑤生きがい対策の推進	94	1	高齢者大学の入学促進	広報等による啓発活動（ピヤシリ大学）	生涯学習課	A	2	・高齢者大学(学級)への入学について、広報や町内会回覧で広く周知し、入学者数を確保している。男女問わず生涯学び続けながら、人・地域との交流、外出のきっかけになり生きがい対策としても現状維持を図る。 ・ピヤシリ大学新入生は平成26年度11名、27年度7名、28年度11名。大学1年生から4年生、大学院1・2年生の6学級。 ・風連瑞生大学は新入生26年度12名、27年度6名、28年度8名あり、大学1、2年生・大学院1、2年生・研究生まで含み合計100名程度で推移している。(長期在籍している研究生が多く60名程度) ・智恵文友朋学級は1学年制で単年度完結。26年度21名、27年度18名、28年度16名で26年度以降新入生は無く同じメンバーである。	3	・高齢者大学は地域に貢献している。 ・更なる取り組みの推進が必要と思う。	C	3	学生募集の周知が学生のロコミと施設へのポスター掲示にとどまり、弱かった。平成29年度から「ピヤシリ大学通信」を新設し、年6回、全戸回覧で取組の周知と募集強化を図る。
			2		広報等による啓発活動（瑞生大学）	風連生涯学習						B	2	広報・お知らせ風・各施設への募集ポスター掲示依頼などを実施し、学生自らの勧誘などとおし入学生確保に努めた。活動内容の充実を目指し、29年度から福祉施設への慰問やタオルの寄贈など、ボランティア活動にも取り組んでいる。
			3		広報等による啓発活動（友朋学級）	智恵文公民館						B	2	平成26年度以降、新入生がいない状況にある。活動内容の充実が入学の促進につながるため、一層の充実内容により、入学生の増に努めることが必要となっている。
		95	1	ボランティア活動の推進	ボランティアセンター事業	社会福祉課	A	2	介護予防サポーター養成講座について、活動指標の目標値に達していないが、フォローアップ講座を実施するなど、サポーターのスキルアップにつなげており、今後実施内容を検討しながら継続していく必要がある。	2	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり
					高齢者運動指導ボランティア育成講座の開催(介護予防サポーター養成講座)	地域包括支援センター						A	2	1次評価のとおり
		96		就業機会の確保	高齢者事業センター・高齢者事業団への支援	高齢介護課	A	2	今後も継続して補助金を支出することで、安定した事業展開をしていく。	3	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり
		97	1	スポーツ・レクリエーション活動の推進	チャレンジデーへの参加促進、生きがいホビーセンター	高齢介護課	No.70と統合							
					各種スポーツ大会の周知	スポーツ・合宿推進課								
		98		老人クラブ活動の推進	老人クラブ連合会への運営補助、福祉団体活動推進補助	高齢介護課	A	2	老人クラブの活動維持のため、今後も継続した支援をしていく。	3	・更なる取り組みの推進が必要と思う。	A	2	1次評価のとおり